

伊方町議会第73回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
清家 慎太郎議員	1 伊方町の観光事業の取り組みについて	町 長
質問の要旨		
アフターコロナの感が漂う昨今、外出意欲は順調に回復を続け、町内の観光地にも人が増え、活気が戻りつつあることを肌で感じることが出来るようになりました。 四国最西端、海と山に囲まれ数多くの観光資源を有する伊方町。 自然観光資源として佐田岬灯台、伽藍山、瀬戸頂上線等。 観光関連施設として佐田岬はなはな、だんだん、きらら館。 そして食事や自然環境が魅力の宿泊施設。 これらに今後ミュージアムと亀ヶ池温泉が加わることになります。 まだ磨き上げの必要なものもありますが、それぞれが大きな魅力を持つ観光資源であり、今後の伊方町が力を注いで取り組むべきはこれらの観光資源をいかにPRし、いかに組み合わせて点を線に、また線を紡いで面にするか、という事だと考えます。 行政と連携し、その役割を担う団体として一般社団法人佐田岬観光公社が2022年10月に地域DMOの登録を受けました。 点を線に、線を面に、また体験型や地域資源を生かした商品開発や磨き上げなど、大変大きな役割を期待されている団体であります。 そこで質問といたしまして町と佐田岬観光公社との現在の連携の状況と今後の取り組みについて伺いいたします。		